

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況 (※SNS型投資・ロマンス詐欺は含まれません)

8月中	件数	金額	1~8月	件数	金額
R6年	12	約2,960万円	R6年	96	約2億200万円
R5年	17	約1,370万円	R5年	123	約2億8,780万円
増減	-5	約+1,590万円	増減	-27	約-8,580万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (※特殊詐欺には含まれません)

8月中	件数	金額	1~8月	件数	金額
R6年	19	約2億4,740万円	R6年	104	約13億9,610万円
R5年	3	約3,400万円	R5年	17	約1億740万円
増減	+16	約+2億1,340万円	増減	+87	約+12億8,870万円

※当面の間、特殊詐欺に類似するSNS型投資・ロマンス詐欺の件数・金額を掲載します。

8月中の主な手口 (SNS型投資詐欺)

SNS型投資詐欺の手口一例

SNSを通じて異性から友達申請がきたため、メッセージのやり取りを行っていたところ、相手から「叔父に経済学者がいる。」「短期的な取引でリスクを押さえて利益を得ることができる。」などと投資を勧められ、相手の指示に従って投資アプリをダウンロードするとともに運用資金を入金して投資を始めた。ダウンロードした投資アプリ上では、順調に資産が増えているように表示されたため、投資が上手くできているものと信じて、複数回にわたり、合計約7,010万円を振り込んだところ、投資アプリ上の総資金が230万ドルを超えるに至った。

そうしたところ、投資会社を名乗る者から連絡があり「口座情報がロックされ、口座資金が凍結されている。口座資金の10%を支払えば解除される。」などと言われたため、口座凍結を解除する支払金として、3,530万円を入金したが、さらに「国際送金ができなかった。」などと言われたことから被害に遭っていることに気が付いたが、気が付いたときには合計15回にわたり、総額約1億540万円をだまし取られた。

特殊詐欺未然防止紹介

8月中、中国銀行西阿知支店では、年金機構から「還付金がある。」と電話を受けて来店した来店客に対応した職員が話を聞くなどして詐欺被害を見抜き、警察に通報するなどして還付金詐欺被害を未然に防止しました。

また、セブンイレブン倉敷美和一丁目店、ローソン総社中央四丁目店等では、電子マネー購入者に声を掛けるなどして架空料金請求詐欺被害を未然防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計13件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

中国銀行西阿知支店では職員が還付金詐欺の手口を理解していたからこそ詐欺と気が付いたもので好事例と言えます。また、各コンビニエンスストアでは日頃から特殊詐欺被害防止に目を向けていることから来店客に声を掛けていた内容を見て詐欺と見破ったもので、いずれも好事例です。